



「高大接続」とは何か 教師になろうとするひとに考えてほしいこと

講師：大谷 尚

(名古屋経済大学人間生活科学部特任教授・名古屋大学名誉教授)

開催日時：2024年7月6日(土) 13:00-14:30 (質疑応答を含む)

7月7日(日) 13:00-14:30 (質疑応答を含む)

※両日の講演内容は同一です。都合の良い日程を選択してください。

開催方法：Zoomミーティング (オンライン)

※特別の事情が無いかぎりカメラオンでご参加ください。

対象者：教職志望のあるなしにかかわらず、東海国立大学機構の学生・教職員ならどなたでもご参加いただけます。

定員：各回50名

申込方法：高大接続研究センターWebサイトにあるフォームに必要事項を記入・送信してください。申込締切は7月4日(木)です。

参加費：無料

概要：2010年代に議論が本格化した「高大接続改革」は、①高等学校教育改革、②大学入試改革、③大学教育改革の3つの一体的な改革を通して、新しい時代に合った教育を実現しようとしたものでした。しかし大学入試改革では、導入を計画したいくつかの事柄が実現しませんでした。この改革では何を指し、何が変わり何が変わらなかったのでしょうか。またこの改革の小・中学校の教育や大学卒業後の生活への影響はどのように考えられるのでしょうか。なお今年度実施される大学入試は、2022年度からの新学習指導要領で勉強した高校生の初めての大学入試で、来年1月の共通テストもそれを前提としています。この点についても触れます。本セミナーは、教職志望の学部生・大学院生を主な対象として教員採用試験にも役立つような基礎知識の獲得を目的のひとつとしていますが、高大接続に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。



◀ 申込フォームはQRコード
またはセンターWebサイトから

名古屋大学教育発達科学研究科附属
高大接続研究センター
<https://chet.educa.nagoya-u.ac.jp/>